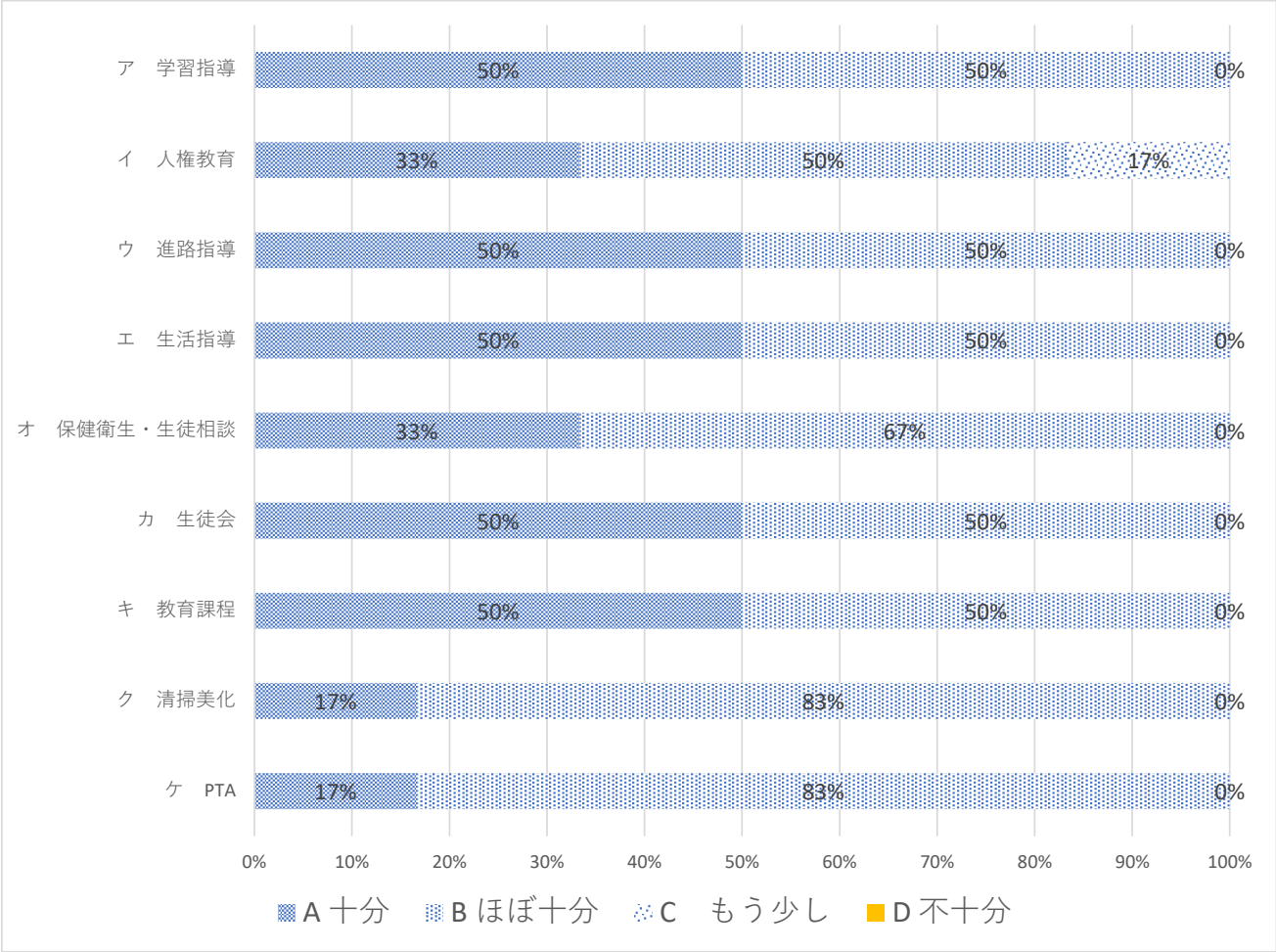


# 令和 6 年度 学校関係者評価報告書

## 1 学校評議員による項目別学校評価



## 2 学校評議員による意見と提言

### ア 学習指導

- ・ ICT機器の活用は、常識になっていると推測しますが、全生徒が使えるようにしたいところです。
- ・ 授業参観も何回かさせていただきました。わかりやすく丁寧な授業が多いと思いました。
- ・ やはり、学校は何といっても「授業」で、生徒たちが自分の学びを実感できることが大事だと思う。「授業の見直し」の項目における向上策のコメントに「教科を横断して探究的な学びについて研究する。」という一文があったが、ぜひ、各教科で取り組んでほしい願っている。基本的な知識の獲得は必要だが、どこかで自分の体験や知識を総動員して考えるような時間、授業の取り組みを期待したい。

### イ 人権教育

- ・ 人権教育という形どおりのものになってしまう傾向があるが、2024年度のトーマス・ニョッキ氏のようなユニークな人材による教育は興味深い。生徒にとって得難い機会になったのではないかな。今後も、現代の人権問題を考えるためにも、国際的な視野の歴史的な視点も含めた人権教育を充実させるための講師や、講話内容を検討してもよいのではないかな。

## ウ 進路指導

- ・ 大学インターンシップ、キャリア講演会、大学見学会は、非常に役に立つのではないのでしょうか。欲を言えば、自分の進路にあった学部を見学したいのではないか。
- ・ 生徒それぞれの希望に応じた進路指導がなされていると思いました。
- ・ 「進路に満足」の評価が上がってきている。また、先生方の自己評価でも進路指導に手応えを感じていることが伺える。授業に関する評価も高まっており、いっそうの授業改善に取り組まれ、生徒の力を伸ばしていただくとともに、個々の進路希望が実現するようにこまやかなご指導をお願いしたい。
- ・ 非常に熱心に生徒のことを見てくれていることを知ることができ、素晴らしい学校だと思いました。広い視野、将来を生徒とともに見ている生徒が多い一方、一部狭い、硬い指導をされる先生が目立ってしまいます。担任1人に絞らず、また気がかりな先生が一对一で指導する場面を減らしたり、別の先生とも話せるしくみをオープンにできるといいかと思います。

## エ 生活指導

- ・ 在学中に、心身の不調や家庭環境の変化を経験する生徒も少なからずいる中で、きめ細やかな対応をされていることに頭が下がります。初期対応と相談につながるまでがとても難しいところだと思います。メンタルヘルス領域では、初期から2人以上で関わることで、支援する側も安心して大変な状況にいることができるとされています。担任にとっても生徒にとってもより安心して悩めるしくみができるといいかもしれません。

## オ 保健衛生・生徒相談

- ・ 来年度の目標にも書かれていたが、生徒の学校不適応の要因が多様化している。加えて、保護者のアンケートからも生徒への対応への不安や不満が一部にあることがうかがえる。多様化する生徒や保護者の要望に応えるために教員だけが対応を担うのではなく、外部相談機関やスクールカウンセラー、養護教諭と連携し、「チーム」としての対応する道を探ってみてはどうか。
- ・ 社会全体の変化とともに親の感覚、子ども達の成長も変わってきているということは痛感するが、野沢北の目ざしている「自主自立、主体的に」ということは、生きる上でいつも時代も変わらない。学校評価の自由記述の保護者の意見はしっかり受け止め対処はするが、時には高校生の自立に向かうことを支援する大人のあり様についても学校側から「こう考える」というものを発信していったほしい。
- ・ 誰かに「休みましょう」と言われないと倒れるまで走り続けてしまう生徒、という話を聞き、考えさせられました。そうなってしまっている背景は何でしょう。いつも「休みたいなあ」と思って休んでいる私には考えられないことですが、もし、「自分のことを自分で決められる」「決めていいんだ」という感覚が生徒にないとしたら大変なことですね。

思春期の真ただ中にいる生徒達、時間に追われる毎日かと思うが、時には決まっているルールから脱線し、自分を見つめたら、悩んだり、反発したりしながら「自分とは」「私は」という自分を少しでも見つけてほしい。そのためにも、どこか上手に「ぼーっ」としたり、サボったり、時には「学校に来たくありませんでした」と欠席理由を言える環境があることを願っています。

- ・ 学校内で相談できる場所を知っているか？ また、話を聞くという時間をつくるなどご苦労されている先生方も多い。学生が社会へ出たときにいろいろな人（親や学校以外）にも頼ることができる様、居場所の選択肢を増やしてほしい。

#### カ 生徒会

- ・生徒の自主性に基づいた生徒活動が、活発に行われていると思います。
- ・生徒が自主的に日輪祭を進めている。クラス全体でまとまりがあり、模擬店も充実していた。展示についても、時間がなかで学生たちの表情ややりたいことを実演していた。応援団や第九についての復活させてほしいというOBの想いはよく聞かすが、現代を生きる学生がやりたいかどうか決めてほしい。形が変わっても、応援する方法はある。

#### キ 教育課程

- ・学校評価を毎年この時期に見せていただく。この時点で来年度の向上策を「具体的に」ということを求めるのは難しいかもしれないが、「～のために来年度は、〇〇〇をする」というような提案が学校評価のまとめとして報告されると良いと思う。「学校評価の役立ち」の評価結果には「具体的に何をするか分からない」という保護者の気持ちがあらわれているのではないか。

#### コ 普通科探究

- ・2年生の発表を参観し、昨年より内容・発表が充実してきていると感じます。特に、現場に足を運び、自分の五感を使って調べた発表が増えたと思います。また、内容に説得力がありました。さらによりよい探究となるようにご指導いただきたいです。
- ・大学進学後の学修を見据え、生徒の力を身に着けるために、文理を問わず力を入れる必要がある。そのためには従来の探究教育に加え、大学との連携を強化することも検討してはどうか。また、120年の歴史を持つ進学校である野沢北の強みを活かし、多様な分野で活躍する卒業生を講師に招くなどの協力を依頼することも必要ではなかろうか。
- ・探究の調べる先がWEBなどが多く、もう少し文献や図書を活用したり、地域の事例から入ってほしいと思うことがある。スケールの大きいこともどれだけ自分事にするか。進学のモチベーションにしてほしいと願っています。あと、頑張りすぎず、楽しんでほしい。

#### サ その他

- ・新校がどうなるか、地域住民の一人として、また野沢北の同窓生として大きな期待を寄せています。校長先生が、もうすでに新校がどうなるかという取り組みは始まっていると話されていますが、「探究」が学校全体のものとなることを願うとともに、本物を目指して頑張ってもらいたい。（もちろん、今も十分頑張ってもらえるが）
- ・今年度開催された新校説明会がとても好評で、今の高校はここまでやっているんだと驚かされている方も多いように思います。ぜひ、続けていただきたい。同時に、学校選びに動画での紹介もあるとこれからの中学生、小学生にも見てもらえるかもしれないなと思いました。
- ・春休み中など地区の小中学生との交流があると、お互いに相乗効果がある気がする。卒業したOBが学校訪問し、学生と交流する時間があると探究サポーターだけでなく、大学生や大人と話す機会ができるのではないか。学生たちの可能性に期待したい。

（事例）高3（教育学部進学）の春休み中

○佐久市内の小学校で先生のサポート体験

○休み時間活用した地域交流

（経緯）教員を目指しているが、実際に子供と関わるボランティアを希望し、春休み中に何かできないか？と相談があり、小学校の教頭先生へ話したところ人手が足りないクラスもあるので助かりますとのこと。子どもたちからも好評です。